

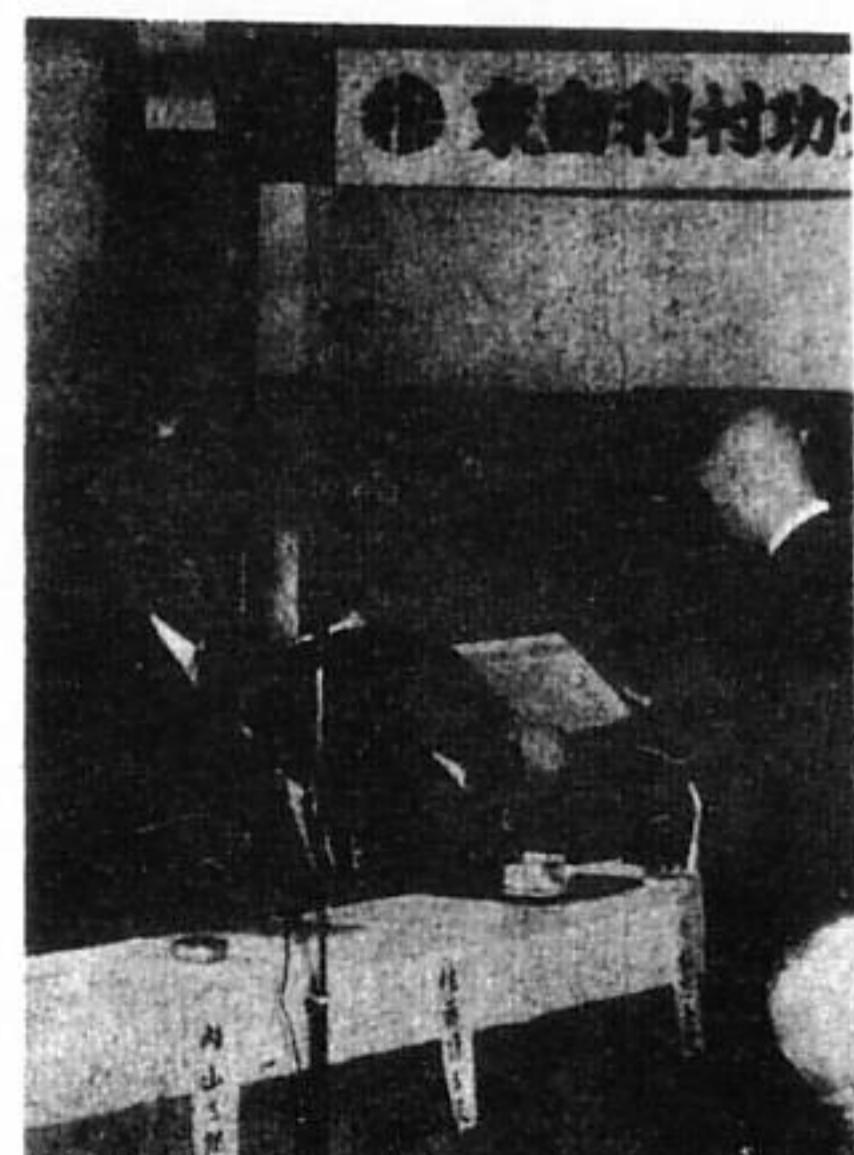
脳卒中のシーズンです



菊香る十一月六日、昭和四十八年、度の村功労者表彰式が役場で行なわれ、本村の発展に貢献され、すぐれた業績を残された故小野藤一郎氏の

ご遺族、小松忠亮氏、佐藤謙吉氏、内山三郎氏に小松村長から表彰状と記念品が贈られその功績が称えられました。表彰式は午前十一時から、村功労者、議会議員、各種団体長、行政関係者など多数の来賓が列席する中で厳粛に行

厳粛に 功労者 表彰式



村功労者の表彰式風景

なわれました。小松村長は被表彰者四氏のご功績をたたえるとともに感謝の心をこめて「本村の今日ある発展は立派な先人、よき指導者の絶ゆまぬ努力によるところが大きい。今後も幾

多の困難が予想されるが『温故知新』の心がまえで臨むことにより必ずや明るい前途が約束されるものと確信する:』と式辞をのべたあと、来賓から祝辞がのべられ続いて被表彰者代表がお礼の言葉をのべ、厳粛のうちに式典を終りました。

小まめに節電を 日常生活に欠かせない電気は石油事情の悪化から発電量の低下が心配されています。不必要的電気は小まめに消し節電しましょう。

農作業が一段落し、朝夕の冷え込みが厳しく冬がかけ足でやつて来る頃になると、成人病の中でも特に高い死亡率を示す脳卒中の循環器疾患

の発病が多くなります。患の発病が多くなります。村では、村民の健康保持を

最重点に県(保健所)等と提携し、高血圧症等脳卒中予防のための村民皆検診を実施、

このほど、その一環として脳卒中予防の第二次検診をうけた人たちを対象に、村内六会場で事後指導を行ないました。

本荘保健所の佐々木専門技術員か

第二次検診の事後指導風景(田代べ)

しかし、関係者のこうした努力にもかかわらず受診率は低調で、七月十六日から村内十会場で、満三十歳以上、六十四歳未満の三、九五一人を対象に行なった第一次検診の受診者は七三・一割の二、八八人にすぎませんでした。これらため第二次検診を必要

ふだんは自覚症状がなかつたり、あっても大したことがないとして放置し、外見上は健康体と見られる人が突然発病するなど個人差が大きい脳卒中を根絶するために、私たちのひとり一人は自分の健康管理にもっともっと関心をもち、精神的に受診する習慣を持つて行きたいものです。

秋田県市町村職員共済組合保養所『焦風荘』(象潟町)で次により三名の従業員を募集しています。

(1)満25歳までの独身女性で住込み可能な方。(2)初任給は高校卒四万二千六百円。中卒三万九千円。但し経験や年令勘案の上初任給決定。(3)賞与は年三回、一般公務員並み(4)超勤手当等は月平均給料の15%程度。(5)その他一般公務員と同じ。

希望者は履歴書に写真を添付の上、十二月十日まで、秋田市山王四丁目二番三号(秋田県自治会館内)秋田県市町村職員共済組合へ郵送のこと採用は面接の上決定。

予防策は『積極受診』

のぞまれる自覚と摂生

ら①成人病予防のための日常生活②冠動脈の分布図③六つの基礎食品など、三枚のパネルに多くの例示を用いて栄養のバランスを考えた日常の食

生活②冠動脈の分布図③六つの基礎食品など、三枚のパネルに多くの例示を用いて栄養のバランスを考えた日常の食

生活②冠動脈の分布図③六つの基礎食品など、三枚のパネルに多くの例示を用いて栄養のバランスを考えた日常の食

生活②冠動脈の分布図③六つの基礎食品など、三枚のパネルに多くの例示を用いて栄養のバランスを考えた日常の食

東由利村報

No. 202の②

発行 秋田県東由利村役場 昭和48年12月1日発行
印刷 KK本間印刷所
総数 男 3,348
男女世帯数 女 3,518
村の人口 世帯数 1,542

とされた人は七十九人に及んでいます。
ところが、この第二次検診に低下しています。
当たる四五〇人には何らかの異常が発見され、そのうち三五〇人は直ちに加療や精密検診を要することが明らかにされています。

便局では次のように協力をぞんります。
①小包は包装、宛名を確実にし、遅くも十五日頃まで差し出します。

郵便物の差出量が急増する年末は郵便物の遅れも予想されることから、老方郵便局では次のように協力をぞんります。
①年賀郵便物は他の郵便物と区別し、年賀ハガキは輪ゴムやヒモ等で束にして差し出します。

未記入であれば誤配や遅配の原因になるおそれがある。

年末郵便物に協力を!

小包は15日、ハガキは22日までに

地区挙げて演芸会宿

主催の青年会に“花”の山

宿青年会（畠山清雄会長 会員二十二名）では、宿小学校や公民館宿分館、

沼部落有志など多くの人たちの後援のもとに、十月二十七日夜、宿小学校体

育館を会場に演芸会を開催、農繁期の最中にもかかわらず会場あふれるばかりに集つた約五百人の観衆から大好評を博しました。

宿青年会主催の演芸会は今

年で第三回目を数え、民謡をはじめ、フォークソング、創作劇のほか、沼部落有志による伝統の沼番楽なども演じられ、年々その内容がバラエティ

作劇り田吾作村の夕暮などは、農作業のあい間を縫つて割れるような拍手がわき上がりに富んでいます。

貧しい小作農家の後継ぎとこれまた貧しいながらも、明るく、力強く生きようとする娘の純愛に、権力と富をかさに横恋慕する地主の息子を登場させ、今なお残る農村の一コマをコミック風に演じた創

作劇、精出し、準備に取り組んで来

た会員たちの精いっぱいの熱演に加え、伝統の番楽を演じた沼部落有志、石沢地区若い民謡の会、西日農高出身者のグループ“英知会”有志など

の積極的な支援と協力を演芸

“集団性”日を追つて

効果を上げた幼稚園学級

住吉小学校をはじめ多くの関係者の協力により初

年度からすばらしい実績を上げた住吉幼稚園学級は、田代・黒淵地区住民の強い要望に基づいて本年度も六月以来のべ五十六回にわたり開設され大きな効果を上げ、借しまれながらこのほど閉鎖されました。

不安ではなく、むしろ期待に目を輝かせていたようだった：

昨年に引き続き保育先生（横渡）は「十一名の幼稚の中には昨年の経験児も開設当日に見られたような緊張と自慢のノド

不安ではなく、むしろ期待に目を輝かせていたようだった：

本村の主産業でもある林業振興を目的に、大半が未利用地となっている入会

林野を整備、その高度利用に取り組んでいる村では、このたび県内でも初の“入会林野整備地利用コンクール”を実施、十一月二十六日役場

で表彰式が行な



賞の深山組合員
植林に精出す一等

関係者の意欲度など五項目からなる細かい審査の結果、深山入会林野整備組合（長谷山憲一代表）が九十七点をあげ一等になりました。村長から賞状賞金を授与されたほか、多くの協賛、後援団体からも賞状が授与されました。

二等以下の入賞組合は次のとおり。

コンクールは、昭和四十四年から四十六年度までに整備を完了した二十三団地三百七十六・八分を対象に、由利農林事務所林務課技術職員ら五人の審査員が直接現地を調査して実施されました。

百点を満点とし、当初計画から見た適地適合度・利用度

で表彰式が行な

ました。

（小野昭一）▼三十一　藤澤（畠山年男）▼三十二　大吹川（佐藤正志）▼三十三　須郷（小野久亮）▼三十四　松沢（小松与惣雄）

今年こそ事故ゼロを

出かせぎ

出かせぎしなくてもよい生活の工夫や努力は怠らないで行くべきものです。

村長には今年も多く出か

出かせぎシーズンになりたことと思いますが、山村を取りまく諸問題にじつくり取り組んで頂きたいと思います。大森、大曲と三グループが一緒に就労していますが、町村によって出かせぎに対する取り扱い方が違うようですね。例えば国保関係ですが、大森町は希望で丸特を発行することで今日手続きをしていました。

正月は全員帰郷しますが今から楽しみにし毎日の職場に頑張っています。取急ぎ一筆近況お知らせまで。

草々。

せぎ者から村政への助言や元気な近況を知らせる便りが寄せられています。

今回はそれらの中から村民九名で東京都の製パン工場に集団就労した三浦彦次さんへ

田代）からの便りを紹介します。

約半年もの長い間、家族と別れ別れの生活を

決して望むところではありませんが、そうしながらではあります。昨年に比べ原

料の値上り、産油国の原油制限等で私たち出かせぎ者

にとつても厳しい冬になりますが、ただ賞金のみ考えず、体を考えた安全就労を致したいと皆で話合っています。

出かせぎシーザンになりますが、前略

十月からまた九名の村出身者と工場で就労しております。昨年に比べ原

料の値上り、産油国の原油

制限等で私たち出かせぎ者

にとつても厳しい冬になりますが、ただ賞金のみ

考えず、体を考えた安全就労を致したいと皆で話合っています。

出かせぎシーザンになりますが、前略

十月からまた九名の村出身者と工場で就労しております。昨年に比べ原

料の値上り、産油国の原油

制限等で私たち出かせぎ者

にとつても厳しい冬になりますが、ただ賞金のみ

考えず、体を考えた安全就労を致したいと皆で話合っています。

出かせぎシーザンになりますが、前略

十月からまた九名の村出身者と工場で就労しております。昨年に比べ原

料の値上り、産油国の原油

制限等で私たち出かせぎ者

にとつても厳しい冬になりますが、ただ賞金のみ

考えず、体を考えた安全就労を致したいと皆で話合っています。

出かせぎシーザンになりますが、前略

十月からまた九名の村出身者と工場で就労しております。昨年に比べ原

料の値上り、産油国の原油

制限等で私たち出かせぎ者

にとつても厳しい冬になりますが、ただ賞金のみ